



2017-2018年度

RI会長

イアン H.S. ライズリー

RIテーマ

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

国際ロータリー第2830地区

八戸北ロータリークラブ 会報

ガバナー ● 佐々木千佳子 会長 ● 小金平育男 幹事 ● 久保隆明 SAA ● 大崎光明

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6
八戸プラザホテル内

TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128

<http://www.8kitarc.com/>

例会日：毎週火曜日 12:30開会

11月 ロータリー財団月間

vol. 20

第 2294 回例会

2017.11.28

司会：吉田悦子副SAA

- ・ RIテーマ
- 点鐘
- ・ ロータリーソング
- ・ クラブソング
- ・ 四つのテスト

地区大会表彰

- ・ 新ポールハリスフェロー
優秀ロータリアン
平野 薫会員



会長要件



小金平育男会長

インフルエンザの流行の
のときでございませう。昨日の
夕方方のニュースで、インフル
エンザ患者の異常行動について入
っていました。タミフルとかリレンザ
など薬を服用していても可能性
があるという話で、厚生労働省の
発表で平成21年から8年間で400
件を超える報告があったという
ことです。それだけ頻繁にあった
のかとビックリしました。異常行
動は未成年が多く、10歳前後の
男の子が一番多いという話です。
高層マンションなどでは飛び降
りて亡くなった方が8人程いて
ビックリしました。これから大人
は大丈夫ということはありません
ので、インフルエンザに罹ったら
、一人にしないことが大事で、
マンションなどでは外に出ない
ような対策が必要ということ
でした。

これから皆さん、十分気をつけて、
家族、周りの方に気をつけてあげ
たらいいのかなと思います。

幹事報告

久保隆明幹事

◎松戸東RCからリングを送ったお
礼状が届いています。

親睦委員会報告

大沼 衛会員

ニコニコBOX

八戸北RC

源新和彦会員：早退失礼致します。

米山記念奨学会

奥寺良之会員：

平野 薫会員：

大沼 衛会員：

ポリオ・プラス

源新和彦会員：

源新育子会員：

千葉清彦会員：

出席報告

本日の出席率	66.67%
前々回(11/14)の修正出席率	75.68%

ロータリー財団

小林弘文リーダー

11月はロータリー財団月間という
ことで今日はロータリー財団につ
いて理解を深めていければいい
なと思います。

源新育子会員

11月はロータリー財団月間とい
うことで、一番最初は1956年「
ロータリー財団週間」というもの
から始まりました。これが効果
があったということで1982年か
ら毎年11月を財団月間として
続いています。

財団月間は、何のために寄付が
必要で、どのように使われ、ど
のように役立っているのか、ま
た一人一人のロータリアンの心
の中に世の中を良くしたいとい
う奉仕の思いがロータリー財団
を支えているということ、それ
から財団の様々な奉仕プロジェ
クトが人類の幸福、世界の平和
に大きく貢献している、ことを
認識する、そういうことをクラ
ブの中でそれぞれの思いや考
えを話し合ってみるとい
う月間と捉えていいと思
います。

大まかな項目だけお話し
たいと思います。

ロータリー財団の標語「世界
でよいことをしよう」。アー
チ・クランプが1917年に提唱
した言葉がそのまま

財団の標語になっています。

ロータリー財団の使命、ロータリーの使命と一緒に後ででてきますが、貧困を救済して世界理解、親善平和を達成、実践することにあるということがロータリーの使命となっています。新しい補助金システムになっていますが、殆どが6つの重点分野、平和と紛争、疾病、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展、こういうことを優先事項として財団の運営がされています。

財団の誕生から今日まで。アーチ・クランフは1905年にロータリークラブが創設されてから6人目のRI会長で、「世界でよいことをしよう」ということで26ドル50セントの寄付で基金を設立し、1917年「ロータリー基金」という名前でスタートしました。それから10年ほどして5000ドルまで成長したところで、1928年のミネアポリス国際大会で「ロータリー財団」として正式に承認されています。それまではロータリーの中で運営されていたのですが、国際ロータリーから独立した機関となりました。元RI会長などロータリーの中から5名が管理委員会に選出されて資金の維持、投資、管理、運営などを行っています。現在のロータリー財団の管理委員会は15名で成り立っています。

ロータリー財団を非常に大きく成長させたのは、ポール・ハリスが亡くなったことでした。その死を悼む方が寄付よせ、財団では「ポール・ハリス記念基金」を設置して寄付を呼び掛けました。翌年までに130万ドル以上の寄付が集まって、その年度に財団の最初のプログラム、国際親善奨学生が実施されました。ポール・ハリスが亡くなって10年程して1957年ポール・ハリス・フェローという認証制度が、寄付してくださった方々に感謝の気持ちを表す手段として始まりました。

そこから色々なプログラムが始まっていったわけですが、2008年ロータリー財団の未来の夢計画が認証されました。当地区もパイロット地区として2010年から12年の3年間、識字率、水事業のプログラムを実施しました。2015年7月から「シェアシステム」完全実施になり現在に至っております。

2016-17年、ロータリー財団100周年ということで、皆さんにも寄付をお願いして、地区だけでも40万ちょっと集まりました。100周年だったこともあり3億ドルを目標にして動きましたが、年間を通して昨年は2億6千万、その前は2億4千万でしたが、結果的に3億430万ドルで目標を達成できました。

未来の夢計画、新しいシステムはどういうものか。プログラムや手続きをシンプルにして迅速に対応する。世界の優先的ニーズに焦点を絞って維持可能で大きな影響をもたらすプロジェクトを推進する。地元、海外両方の活動を支援して行使の成果を確実なものにする。地区レベル、クラブレベル、自分たちの活動、自分たちの財団という意識を高め、ロータリーの公共イメージを高める。広報の意義、こういうことを目的とした新しい財団に移行しております。

新しい財団のプログラムは大きく分けると5つあり

ます。地区補助金、当クラブでも使っています。グローバル補助金、これは最低金額が15000ドルで同額補助があるので最低でも30000ドルからの大きな事業です。パッケージ・グラント、財団がある程度枠をつくってクラブ、地区が加わって運営するプログラムです。ロータリー平和センタープログラム、今後非常に期待されているものです。日本では奨学生として国際基督教大学が選ばれております。ポリオ・プラス・プログラム、2018年を撲滅の最終期限としていましたが現状からは難しいと。撲滅まで続ける最優先事項のプログラムです。プラスとはポリオと共にハシカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風、これらをプラスして同時に追放することを目的としています。これ以外にボランティア奉仕活動資金とか国際親善奨学金、大学教員のための補助金など色々な補助金がありました。廃止になりました。

私たちがする寄付の主なものが年次基金で、ポール・ハリス、一人100ドルが目標となっています。用途指定寄付、ポリオとか災害復興などで臨時に設置されたプログラムなどへ指定してする寄付。恒久基金、ベネファクター、1000ドル以上寄付すると得られる称号です。元金そのまま蓄積されて投資収益だけがプログラムの支援に使われるものです。2025年までに20億2500万ドルの目標にしています。現在は12億ドルに足りないうらいです。

新しいシェアシステムはどういうものか。今年使える補助金は3年前に寄付した年次基金と恒久基金の利息を足したものを100%とすれば50%が地区財団活動資金(DDF)で50%が国際財団活動資金(WF)になります。DDFがさらに半分に分かれ地区補助金、グローバル補助金になります。最終的に地区で使えるものは1/4になります。

認証ですが、ポール・ハリス・フェローは現金と認証ポイントがあります。1ドル=1点、1000ドル=1000点でポール・ハリス・フェローの認証が得られます。クラブでは会費で毎年一人100ドル寄付していて、10年経つとポール・ハリス・フェローが得られるようになっています。認証ポイントは譲ることができます。マルチプル・ポール・ハリス・フェローは2000ドルから1000ドルごとに9回目まで。大口寄付者(メジャードナー)は現金で10,000ドル以上、レベル4まで。アーチ・クランフ・ソサエティ、25万ドル以上です。など個人には色々あります。

ロータリー財団は非営利団体の中でも90%以上プログラムに使われている優れた財団としてアメリカのチャリティ・ナビゲーターで評価されています。

今年度の地区目標は120ドル、日本全体では150ドルになっています。寄付0クラブから寄付0会員にシフトしてきています。ポリオは30ドル、小さいクラブでも最低300ドルは寄付するを目標としています。

ロータリーは奉仕の理念を追求して財団は実行する、まさに車の両輪といっても過言ではないと思います。

点鐘